

令和8年度市町村標準保険料率等の算定に係る基礎数値等について

1 推計被保険者数、推計診療費総額

| | 人数・金額 | 対前年度(R 7) |
|---------------------------|------------|-----------|
| 推計一般被保険者数 (納付金等配分用) | 1,051,672人 | ▲36,907人 |
| 推計介護第2号被保険者数 (納付金等配分用) | 363,692人 | ▲7,015人 |
| 推計診療費総額 | 約4,390億円 | +約13億円 |

※前年度（R 7年度）と比較して、推計一般被保険者数については約3.4%の減、

推計介護第2号被保険者数については、約1.9%の減、

推計診療費総額については、約0.3%の増を見込んでいる。

2 国からの公費

| | 金額 | 対前年度(R 7) |
|-----------------|--------|-----------|
| 普通調整交付金 | 約247億円 | +約16億円 |
| 特別調整交付金（県分） | 約6億円 | +約0.2億円 |
| 保険者努力支援制度（県分） | 約25億円 | ▲約2億円 |
| 保険者努力支援制度（市町村分） | 約18億円 | ▲約2億円 |

※その他、療養給付費等負担金、高額医療費負担金等も公費として見込んでいる。

3 高齢者医療制度関係

| | 金額 | 対前年度(R 7) |
|---------------|----------|-----------|
| 前期高齢者交付金（歳入） | 約1,569億円 | ▲約14億円 |
| 後期高齢者支援金等（歳出） | 約770億円 | ▲約4億円 |
| 介護納付金（歳出） | 約280億円 | +約14億円 |

4 国保事業費納付金減算額の変更について

令和6年度決算剰余金（約161億円）から国庫負担金等返還金、令和7年度国保事業費納付金の減算額を控除した額（約116億円）のうち、約54億円を令和8年度国保事業費納付金から減算し、残りの約62億円は財政安定化基金の財政調整事業分へ積み立てることとした。

| | 金額 | 対前年度(R 7) |
|-------------|-------|-----------|
| 国保事業費納付金減算額 | 約54億円 | +約42億円 |